

2021年度インターンシップ受入テーマ等一覧(JAXA事業所)

No.	受入可能部署名	研修実施場所	テーマ(案)	受入可能人数	受入条件				実習日数 (休日除く)	実習期間		実習概要	備考	コロナ状況による実習中止/ オンライン実習への切り替え
					区分	専攻学科等	学年	その他		開始日	終了日			
J-1	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系	相模原	宇宙マイクロ波背景放射の偏光観測用望遠鏡の開発研究体験	5	大学	理学系または工学系	大学1年から3年		10日間	8月6日	8月27日	宇宙マイクロ波背景放射の偏光を観測するための基礎を学ぶ。ミリ波観測装置をもちいた実験・実習をおこなう。宇宙論・光学他の講義や輪講もおこなう。	日程については8/6から8/27日の中の10日間。調整可能。電磁気学の基礎を理解していることが望ましい。	中止
J-2	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系	相模原	宇宙マイクロ波背景放射偏光観測の極低温(0.1K)検出器実験	5	大学	理学系または工学系	大学1年から3年		10日間	8月6日	8月27日	宇宙マイクロ波背景放射の偏光を観測するための基礎を学ぶ。実習は、超伝導検出器TESの読み出し試験を行う。	日程は調整可能。電磁気学とプログラミングの基礎を理解していることが望ましい。	中止
J-3	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系	相模原	科学衛星データアーカイブへ効率的にアクセスするための情報システムの研究開発	2	大学・大学院	指定なし	大学3年以上	Unix(Linux)、プログラミングの知識が必須。	10日間	8月9日	8月20日	当機構が保有している科学衛星データアーカイブの利用性を高め、データに効率的にアクセスするためのウェブシステムの機能改良を行う。	java script, Perl, Python, SQLの知識を持っている、あるいは短期間に身につけられることが望ましい。完成度の高いシステムが成果として得られたら、公開される可能性もある。	中止
J-4	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系	相模原	衛星の電磁干渉設計に関する研究体験	2	大学・大学院	理工系	大学3年以上	特になし	10日間	7月26日	8月6日	天文衛星の設計で重要性を増しつつある電磁干渉について、Maxwell方程式のシミュレーションで最適解を探します。	実習期間は相談に応じます。	中止
J-5	航空技術部門 飛行技術研究ユニット	調布	小型航空機等におけるインシデント・航空事故の傾向調査	1~2	指定なし			航空機の飛行安全に興味関心がある方。	8日間(最長の場合)	7月2日以降	年度内	インシデントや事故の報告書等から、種類・原因の傾向を調査する。	・実習期間は7月2日以降の年度内とし、具体的な日程は今後調整。	中止
J-6	航空技術部門 空力技術研究ユニット/数値解析技術研究ユニット	調布	流体の基礎実験と解析に関する実習	10	大学・大学院	機械系	大学3年以上	機械系の知識とプログラミングの知識が必要	5日間	11月8日	11月12日	0.65m×0.55m小型低乱風洞による風洞実験とCFD解析を行い、結果の比較を行う。(2グループで実施)	大学での機械実習、プログラミング実習、解析経験者がグループ内にいることが望ましい。	中止
J-7	航空技術部門 空力技術研究ユニット/数値解析技術研究ユニット	調布	流体の基礎実験と解析に関する実習	10	大学・大学院	機械系	大学3年以上	機械系の知識とプログラミングの知識が必要	5日間	2月14日	2月18日	0.65m×0.55m小型低乱風洞による風洞実験とCFD解析を行い、結果の比較を行う。(2グループで実施)	大学での機械実習、プログラミング実習、解析経験者がグループ内にいることが望ましい。	中止
J-8	研究開発部門 第四研究ユニット	角田	ロケットエンジン要素実験に関する研修(「再使用ロケットエンジン用機構要素」、「電動ターボポンプ」、「LNG用軸受・軸シール」等)	4	大学・大学院	機械工学、航空宇宙工学	大学3年以上	機械工学に関する基礎知識を有する	10日間	10月1日以降		ロケットエンジンを構成する重要要素機器(ターボポンプ、軸受・軸シール、噴射機等)の研究・開発試験を通して、ロケットエンジンシステムや、ターボポンプシステムを学ぶと同時に、試験機の分解組立実習及び試験作業実習を行う。	学会等日程が未定なため、実習開始日の変更可能な方を希望	中止
J-9	調達部推進課	筑波	JAXA調達への企業参入機会のさらなる拡大に向けた検討	1	大学・大学院	指定なし	大学3年以上		10日間	7月5日	10月1日	ベンチャー企業を含む企業のJAXA調達への参入機会のさらなる拡大を図るために、どのような施策が有効と考えられるかについて検討する。具体的には、現状分析、事例調査等を実施した上で、レポートをまとめ、発表を行う。	7月~9月の間で2週間実施	中止
J-10	宇宙教育推進室	相模原	全国の幼保・小中高校からの依頼に応じた宇宙教育教材・プログラムの開発に関する実践体験	2	指定なし	指定なし	指定なし	幼保・小中高教員志望の学生を推奨	10日以内	9月1日	10月1日	JAXA宇宙教育センターが実施する教員研修・授業連携への同行及び業務支援を通じて、新規の宇宙教育教材・プログラムの開発(提案)を行う。	受入担当が出張等により連続して指導できない可能性があり、その場合の受入日は左記実習期間のうち不連続な日程となる。日程は実習生と調整。	中止
J-11	研究開発部門 第四研究ユニット	調布	耐熱システムに関する研究	1	大学・大学院	機械系	大学3年以上	機械系の知識及びプログラミングの知識	10日間	7月26日	10月29日	耐熱システムに係る熱解析及び加熱試験・評価に係る作業	8月2日~11月26日うち10日間 大学にて、機械加工、組立等の経験がある事が望ましい。	中止

No.	受入可能部署名	研修実施場所	テーマ(案)	受入可能人数	受入条件				実習日数 (休日除く)	実習期間		実習概要	備考	コロナ状況による実習中止/ オンライン実習への切り替え
					区分	専攻学科等	学年	その他		開始日	終了日			
J-12	研究開発部門 研究推進部 角田管理課	角田	東北エリアを対象とした角田宇宙センターオリジナルの広報・アウトリーチ活動方策の検討	3~4	指定なし	指定なし	大学2年以上	特になし	7日間	7月~10月 (予定)		角田宇宙センターは、東北エリアでJAXA最大の拠点として、一般の方を対象とした展示室の運営や一般公開等のイベント、小学生を対象とした宇宙教室の実施や地元角田市との協力による地域振興の取組みなど様々な広報普及、教育、地域連携の取組みを進めている。他方、依然として角田宇宙センターの知名度は低く、開拓の余地が大きいと考えているところ、従来にない新しいアプローチ(※)で角田宇宙センターの活動を知ってもらう方策の検討と具体化をチームで行ってもらう予定。 ※ 新しいアプローチの中には、今後定常化する可能性を含むオンラインイベントについて、角田宇宙センターの魅力を発信できる具体的なイベント案の提案と、そのイベントを実施した際の広報的効果等の分析、検討を含む。		オンライン実習に切り替え
J-13	宇宙教育推進室	相模原	宇宙教育プログラム「エアロスペーススクール」に関する実践的研究	2	指定なし	指定なし	指定なし	宇宙航空研究開発の成果を活用した初等中等教育の実践に関心があること(教育学部、教員養成課程、人文社会学系の学生も歓迎)	10日以内	7月2日以 降	8月31日 まで	宇宙教育センターが実施する「エアロスペーススクール」を題材として担当してもらい、参加者(高校生)のプログラムへの取り組み姿勢等の変化を効果測定をすることにより、宇宙教育の意義等について考察する。	プログラム実践場所での活動が中心となるため相模原以外のJAXA事業所に宿泊を伴い通う可能性がある。(詳細は個別調整)	オンライン実習に切り替え
J-14	調達部推進課	筑波	JAXA調達への企業参入機会のさらなる拡大に向けた検討	1	大学・大学院	指定なし	大学3年以上		10日間	7月5日	10月1日	ベンチャー企業を含む企業のJAXA調達への参入機会のさらなる拡大を図るために、どのような施策が有効と考えられるかについて検討する。具体的には、現状分析、事例調査等を実施した上で、レポートをまとめ、発表を行う。	7月~9月の間で2週間実施。	オンライン実習に切り替え